



三井寺 案内

日下部金兵衛 撮影

三井寺の草創

◆ 近江大津宮

天智天皇が667年遷都

◆ 壬申の乱（672年）

大友皇子（弘文天皇）

大海人皇子（天武天皇）

◆ 686年創建（寺伝）

- 大友与多王の発願
- 天智・天武・弘文の勅願



志賀宮址碑（1897年建立）



園城寺出土瓦（白鳳時代）

寺名の由来

- ◆ 園城寺 (おんじょうじ)
大友与多王が「**荘園城邑**」
を寄進して建立



天智天皇 無名指灯籠

- ◆ 三井寺 (みいでら)
天智・天武・持統三帝が
産湯に用いた**御井**の寺
関伽井屋「**三井の霊泉**」



三井の霊泉 関伽井屋内部

三井寺の開祖と宗派

- ◆ 天台寺門宗の総本山
智証大師円珍（814～891年）
第5代 天台座主
初代 寺門長吏（ちょうり）
- ◆ 天台三派
山門派（比叡山 延暦寺）
寺門派（長等山 園城寺）
真盛派（戒光山 西教寺）
- ◆ 本朝四箇大寺 南都北嶺



三井寺の境内と伽藍

◆ 境内地

現在 約 3 5 万坪

◆ 寺 領

4 6 1 9 石 9 斗

◆ 三院五別所

北 院 国宝・新羅善神堂

中 院 国宝・金堂

南 院 西国第 1 4 番札所・観音堂

五別所 近松寺・微妙寺・尾蔵寺・水観寺・常在寺

如意寺



重文・園城寺境内古図



南 院：三尾明神



中 院：金堂 弥勒仏



北 院：新羅明神

南院三別所・如意寺

微妙寺

尾蔵寺

近松寺

関寺



南院三別所



如意寺

近世の社寺領（朱印地）

1.	興福寺・春日大社	2	2	3	0	0	石
2.	高野山	2	1	3	0	0	石
3.	日光東照宮・輪王寺	1	3	6	0	0	石
4.	寛永寺	1	1	8	0	0	石
5.	増上寺	1	0	5	0	0	石
6.	岩清水八幡宮	7	6	0	0	0	石
7.	伊勢神宮	6	9	0	0	0	石
8.	比叡山延暦寺	5	0	0	0	0	石
9.	園城寺（三井寺）	4	6	0	0	0	石
10.	鶴岡八幡宮	4	4	5	0	0	石
	石山寺	5	8	0	0	0	石
	薬師寺	3	0	0	0	0	石
	清水寺	1	3	0	0	0	石



寛永寺



増上寺



鶴岡八幡宮

寺院の歴史的機能

◆ 1. 権門寺院と検断不入・悪僧

朝廷・武家・社寺 軍事・経済・文化

◆ 2. 聖俗の境界 社会規範の未回収領域

対概念の補完的・往還的關係

有縁・無縁、秩序・無秩序、正統・異端、中心・周縁、光・闇

◆ 3. 別所の機能 無縁所（アジール）

寺院と経済

- ◆ 1. 紙幣の起源 祠堂銭預状・割符 銭座
- ◆ 2. 交易（交換） 市庭・市場 聖俗の境界
- ◆ 3. 流通 馬借・車借・関所
- ◆ 4. 金融 土倉・酒屋



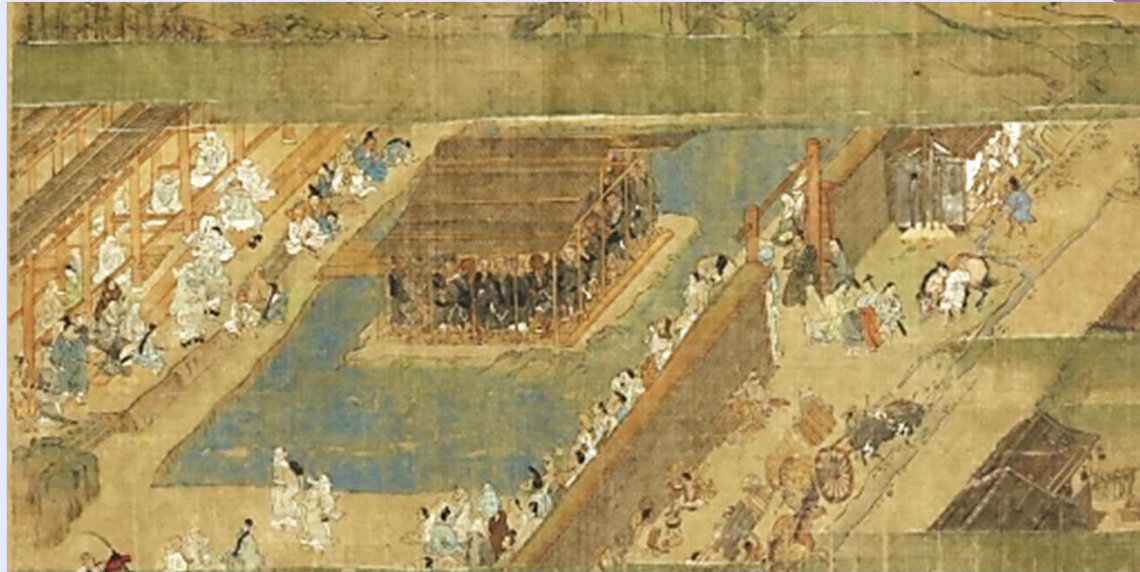
「石山寺縁起」巻二に描かれた馬借
(模本 東京国立博物館蔵)

寺社とは

国家が期待する宗教というごく狭い領域に押し込めることはできない。

社寺（無縁所）とは、もともと国家によって包摂されない部分、また包摂された後に国家からやむをえずはみ出した部分をまるごと受け止める存在

伊藤正敏『寺社勢力の中世』



国宝 『一遍上人絵伝』 卷第七 東京国立博物館所蔵

大津 関寺 弘安7年（1284）

「七日の行法をはじめ給き。あまさへ智徳たち
対面法談ありて聖の余波をおしまるるによりて
今二七日延行せられ侍き」

「寺」といえば三井寺

◆ 智証大師門徒（寺門派）の分立

- ・ 正暦4（993）年

◆ 山寺両門の争い

- ・ 十数度の回録（焼き討ち）
- ・ 平家物語 以仁王、源頼政
- ・ 太平記 南北朝の争乱

◆ 源家崇重の寺

- ・ 源義光（新羅三郎義光）



源三位頼政の墓 宇治・平等院



新羅三郎源義光の墓 三井寺北院

山寺両門の争い

- | | | |
|---|-------------|-------------|
| ① | 永保元年 (1081) | 山寺両門合戦 |
| ② | 保安2年 (1121) | 三井寺焼討ち |
| ☆ | 長承3年 (1134) | 鳥羽上皇 金堂造営供養 |
| ③ | 保延6年 (1140) | 三井寺焼討 |
| ④ | 康治元年 (1142) | 山寺両門合戦 |
| ☆ | 久安4年 (1148) | 金堂供養 (上棟) |
| ⑤ | 長寛元年 (1163) | 三井寺焼討ち |
| ☆ | | 後白河院造立供養 |
| ⑥ | 治承4年 (1180) | 平家により焼亡 |
| ⑦ | 建保2年 (1214) | 三井寺焼討ち |
| ☆ | 建保3年 (1215) | 将軍源実朝の復興 |
| ⑧ | 文永元年 (1264) | 三井寺焼討ち、鐘を破る |
| ⑨ | 文保3年 (1319) | 山寺両門合戦 |
| ⑩ | 建武3年 (1336) | 南朝方により一山炎上 |
| ☆ | 貞和3年 (1347) | 足利将軍家により復興 |

寺門派僧の天台座主補任

- ◆ 永承3年（1048） 明尊 任4日
- ◆ 天喜元年（1053） 源泉 任3日
- ◆ 承暦元年（1077） 覚円 任2日
- ◆ 長治2年（1105） 増誉 任2日
- ◆ 保延4年（1138） 覚猷 任3日
- ◆ 応保2年（1162） 覚忠 任3日
- ◆ 文治6年（1190） 公顕 任5日

霊鐘・弁慶鐘

◆ 弁慶の引き摺り鐘

さざ浪や三井の古寺鐘はあれど

むかしにかへる音はきこへず 定円

- 重量 600貫 (約2250kg)
- 総高約2尺、口径約123cm

◆ 弁慶の汁鍋



鑄鉄
鎌倉時代
約四五〇kg



重文・梵鐘（弁慶鐘）奈良時代

近江名所図絵の弁慶鐘



慶長年間の再興

- ◆ 1595年 豊臣秀吉の闕所 (けっしょ)
- ◆ 1598年から 豊臣家を中心に再興
北政所、徳川家康、毛利輝元など

- ◆ 再興の功労者
 - 准三宮道澄
(大仏照高院門跡)
 - 山岡道阿弥景友



金堂に残る墨書
「太閤北政所御再建」

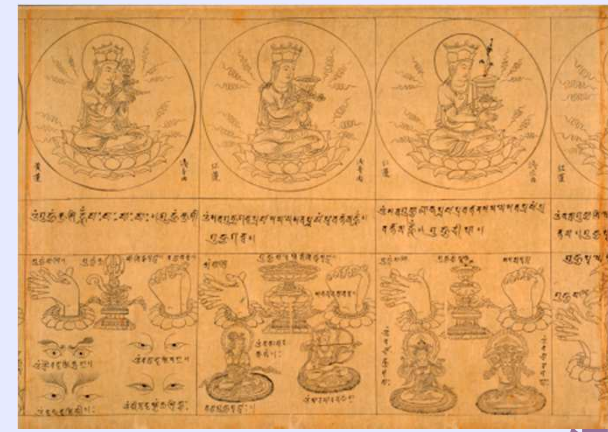
三井寺の本堂・金堂

- ◆ 国宝・金堂 慶長4（1599）年
豊臣秀吉 北政所により再建



三井寺の秘仏

- ◆ 国宝・黄不動尊画像（金色不動明王）
- ◆ 国宝・智証大師坐像（御骨大師）
- ◆ 国宝・智証大師坐像（中尊大師）
- ◆ 国宝・新羅明神坐像
- ◆ 国宝・五部心観
- ◆ 重文・黄不動尊立像
- ◆ 重文・如意輪観音坐像



観音霊場・三井寺

◆ 西国第14番札所・観音堂（県指定）

- 延久4（1072）年創建
- 文明年間（15世紀後半）
山上「華の谷」から移転
- 元禄2（1689）再建
貞享3（1686）年焼失



◆ 南院札所伽藍

- 百体堂（1753年）
- 鐘楼（1814年）
- 観月舞台（1849年）
- 絵馬堂（1802年）
- 地藏堂（1819年）
- 手水舎（1879年）



三井寺の観音信仰

- ◆ 本尊 如意輪観音像（重文）
秘仏 33年に1度ご開帳
後三条天皇の病氣平癒



本尊 御前立

- ◆ ご詠歌
いでいるや波間の月を三井寺の
鐘のひびきにあくる湖

- ◆ 西国観音巡礼の起源
行尊・覚忠の巡礼



西国三十三所巡礼納札

三井寺の観音さま



秘仏 西国札所本尊・如意輪観音像（重文）



千手観音像（近松寺本尊）

左上 重文・十一面観音像
（旧・尾蔵寺本尊）

右上 重文・千手観音像
（旧・如意寺本尊）

近江八景・三井の晩鐘

- ◆ 近江八景の成立 明応9（1500）年 近衛政家

三井晩鐘 粟津晴嵐 瀬田夕照 石山秋月
矢橋帰帆 唐崎夜雨 堅田落雁 比良暮雪

- ◆ 近衛政家の八景歌

思うその曉ちぎる始めぞと
まづ聞く三井の入相の鐘

- ◆ 日本三銘鐘

音の三井寺
形の平等院
銘の神護寺



三つの法門

- ◆ 顕 教（止観業）～法華経、円教
 - ・天台大師智顛「天台三大部」
- ◆ 密 教（遮那業）～大日経、金剛頂経など
 - ・身口意の三密瑜伽、即身成仏
- ◆ 修験道（山伏）～日本の山岳信仰が基盤
 - ・三井修験（本山派）の根本道場
 - ・大峰奥駈修行・葛城修行
- ◆ 総合仏教 顕・密・修験「三道鼎立」

役行者と修験道

- ◆ 役行者(伝634～701年)
 - ・ 修験道の開祖 役小角
 - ・ 生誕 御所市茅原(吉祥草寺)



吉祥草寺(御所市茅原)



役行者産湯の井戸

- ・ 神変大菩薩 1799年諡号
- ◆ 山林修行 山林の浄行禅師



熊野信仰と本山派修験

◆ 熊野三山信仰 熊野詣

- 1090年、白河上皇の熊野行幸に三井寺僧の増誉（1032～1116年）が先達をつとめ、最初の熊野三山検校職に就任し、聖護院門跡を創建

◆ 本山派修験 三井寺を根本道場とする



大峰奥駈七十五靡修行

◆ 大峰奥駈修行 順峰（熊野→吉野）



葛城二十八宿巡拝

◆ 葛城修行

- ・ 大阪・和歌山県境を東西に走る和泉山脈から北上して奈良・大阪県境の金剛山脈に至る
- ・ 役行者が法華経八卷二十八品を埋納した経塚があり、葛城二十八宿と呼ばれる



葛城修行：友ヶ島



三井寺と地蔵信仰

- ◆ 地蔵信仰 天台浄土教から
- ◆ 民間地蔵信仰の成立
 - 地獄の救済者「地獄抜苦」
→ 現世利益「身代わり地蔵」
- ◆ 『地蔵菩薩靈驗記』（11世紀）
 - 実睿による初の地蔵説話集
- ◆ 『今昔物語』（卷十七）
 - 浄照の地獄蘇生譚



伏見の「六地蔵」大善寺は
智証大師の開基と伝える

三井寺の国宝・建造物

- ◆ 国宝・金堂（本堂） 1599年

桃山時代を代表する天台系本堂

- ◆ 国宝・新羅善神堂 1347年

足利尊氏再興 三間社流造の代表

- ◆ 国宝・勸学院客殿 1600年

狩野光信の代表作・四季花卉図

- ◆ 国宝・光浄院客殿 1601年

初期書院造の代表的遺構

金堂・新羅善神堂



桃山の美・狩野光信

- ◆ 狩野光信（1565～1608年）永徳の嫡男
代表作 重文・勸学院客殿障壁画
一之間はメトロポリタン美術館に復元



光浄院客殿 • 勸学院客殿

